

月刊 利根日石新聞 第000151号 発行 利根日石株式会社 TEL 0278-24-1635 本社販管課 FAX 0278-23-9980



春です! 春は人生の節目となる季節です!

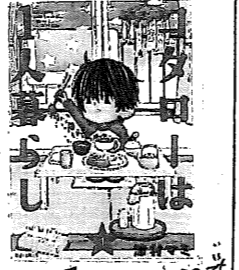


街を走っている時に、新しい制服で歩いている学生さん達を見ると、「入学したんだね」おめでとう、心の中で思いながら、我が家の娘達の初々しい頃を思い出しています。春っていいです。緊急事態宣言の頃は、ほんとうに街も静かだ。バラウタータキムのある街角(ピア)も布をくるまれ閉ざされていました。毎日その姿を見ていたため、(ピア)が現れた時は、すごくうれしかったです。その後何日かして、どちらかの紳士が流れるようにメロディを弾いていました。じよ〜す〜止まて聞いていたから、私も弾きたい!! のねこぶんじやったんのでww

3回目のワクチン接種はわが済みですか? 私、先月接種しました。ファイザー→ファイザー→からのモデルナ。1、2回目は身体に何も起きず、今回も丈夫な私は大丈夫と鬼っていたらまさかの「悪寒」...その後顔から火が出るような「熱さ!!」久しぶりの熱にダルダルで寝ている私に家族は、「うそだ〜(笑)」と言っ具合悪いのを信用せず3回目を接種し何も起きずだった2番目の息子は「やが家で熱が出るって、おかしーよ」と...お母様は君!! 母は母じゃ!! 久しぶりの高熱に「なるぞ... 私も人様と同様の体験ができたかなと... 心に残る3回目ワクチン接種でした。」



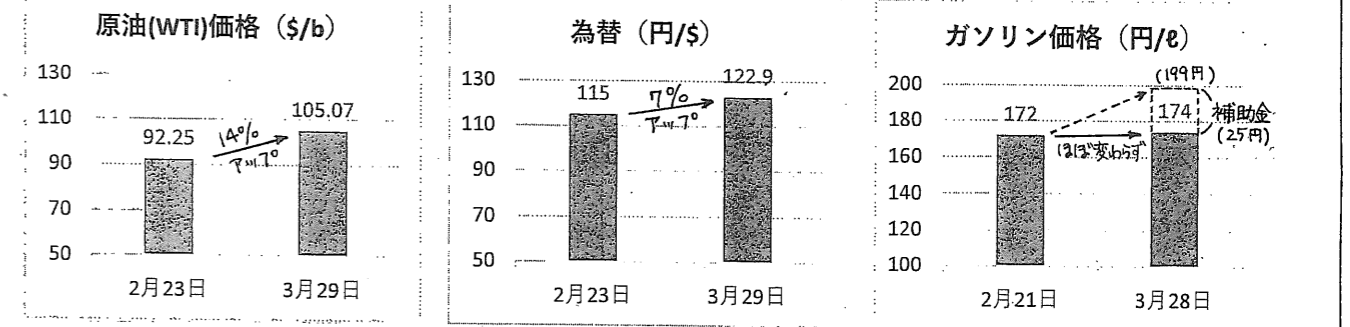
「コタローは一人暮らし」は津村マミさん原作の漫画です。2015年に連載された作品です。実写版でも昨年ドラマ化されています。4歳児が「一人暮らしをする」という特異な設定が興味を引き出すのが、一人暮らしをする日常や、アパート住人との人間模様をコミカルに描いて、その年齢から想像もできない驚異的な生活能力を発揮してコタローは立派に一人暮らしをしている様子、何故ゆえに一人暮らし? 親は? 子育て中の方、困りに幼子のいる方必見です!



ロシアのウクライナ侵攻から1ヶ月〜その影響を考える〜

誰もが「まさか!」と思った軍事侵攻から1ヶ月が経ちました。21世紀の現代社会で、こんな戦争が起きようとは思ってもみませんでしたし、連日、目を覆いたくなるようなニュースに不安や苛立ちを憶える毎日です。

そして、遠い国の戦争ではありますが、その影響は私たちの日常生活に大きな影を落としています。ご承知のとおり、資源や材料など様々な価格が値上がりしています。中でも原油(WTI)は侵攻前日(3/23)では1バーレル92.25ドルでしたが、昨日(3/29)は105.07ドルと14%も上昇しており、こうには為替は侵攻前日の115円/ドルから昨日は122.9円/ドルと7%円安ドル高が進んでいます。ただ、この1ヶ月でガソリンの店頭価格は殆ど変わってません。レギュラーガソリンの全国平均は侵攻前の3/21調査で172円でしたが直近3/28の調査でも174円と、僅か2円(1%)の値上げで堪えています。これは政府の補助金が従来の1ℓあたり5円から、侵攻後25円まで上限を引き上げられた効果と考えるでしょう。ただ、今は何とか持ち堪えていますか、既に補助金の上限25円に達している為、もう一段の原油高騰に見舞われると、その分は直接ガソリン価格に反映されてしまいます。以前から話に上がっているトリカー条項の凍結解除が、与党+国民民主党で協議されていますが先行きは不透明です。



影響は電気でも顕著です。ロシアからのパイプラインによる輸入に頼ってきた欧州では極端な天然ガス不足に陥り、米国や日本をはじめとするアジアからLNGタンカーによる代替輸送を行っています。その結果、日本国内の天然ガスは需給が逼迫し価格が上昇、結果として電気代に転嫁されています。また、各電力会社間で売買される電力卸売市場では、取引価格が急上昇した結果、新電力の「エルビオでんき」や「ウェスト電力」が事業撤退を表明しました。

また意外なところでも影響が出始めています。脱炭素の流れにブレーキがかかりそうです。つい先日(3/28)の報道によると、ドイツ電力大手企業が脱炭素の為に運転停止していた石炭火力発電の再稼働を決めました。石炭火力は火力発電の中でもCO2の発生量が最も多く、その為、ここ数年で比較的CO2の発生が少ない天然ガス火力に切り替えられてきましたが、最低限の電力を確保する為に苦渋の決断をしたということでしょう。また、一部のレアアースにも影響が出ている為、半導体やバッテリーの生産に一部ブレーキが掛かり、再エネ機器やEVの生産にも影響が出始めています。

まさかの戦争、世界的な物価高、さらに脱炭素のブレーキ、とロシアの軍事侵攻は国際社会を三重苦に陥れています。本来であれば地球環境の保護や貧困の解決などに取り組み、その為の技術開発で豊かな発展を目指す21世紀です。1日も早い停戦と、世界経済の正常化を願って止みません。